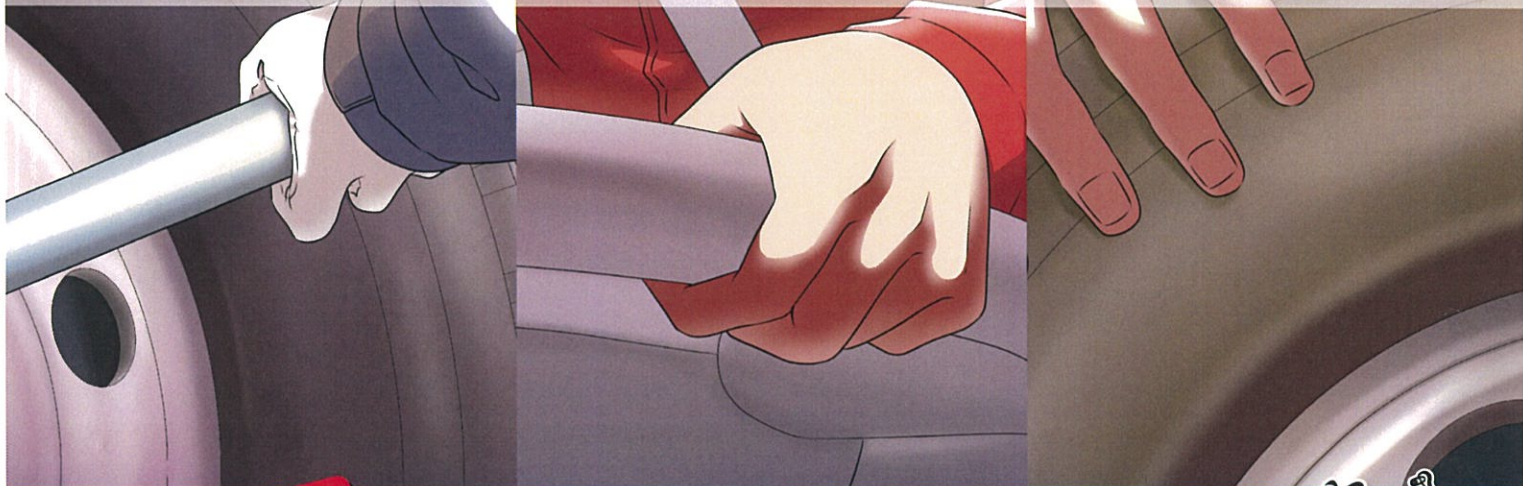


# 大型車の車輪脱落は許さない。

大型車に関わる私たちプロの使命です。



## 重大事故を未然に防ごう！

タイヤ・ホイールは、しっかり点検、正しく整備。



- |  |  |   |  |
|--|--|---|--|
| <p><b>1 規定のトルクで確実な締付けを</b></p> <p>締付け方式には、踏面直で締付けるJIS方式と平面直で締付けるISO方式があります。「規定の締付けトルク」で確実に締付けます。</p> <p>※ホイールナットの締付け不足、締め忘れ等のため、ナット締付け作業終了後、「規定の締付けトルク」で確実に締付けたことを確認するよう、お願いします。</p> | <p><b>2 50~100km走行後はしっかり増し締めを</b></p> <p>締付け後は初期なじみによってホイールナットの締付け力が低下。50~100km走行後を目安に、増し締めしてください。</p> <p>※この増し締め作業は必ず行ってください。</p> <p>※この増し締め作業は必ず行ってください。</p> | <p><b>3 一日一回の日常点検を</b></p> <p>運行前にホイールボルト、ナットを目で見えきわめて点検してください。異常を発見したらすぐ整備工場へ。</p> <p>とくに、気が付きにくい左装輪は、重点的に点検を!</p> | <p><b>4 ホイールに適したボルト、ナットを</b></p> <p>スチールホイール、アルミホイールの置き換えには、それぞれ適合するホイールボルト、ナットの使用が必要です。必ずご確認ください。</p> <p>※JIS方式では、アルミホイール(スチール)用のホイールボルト、ナットで、スチールホイール(アルミ)は装着できません。ISO方式では、スチールホイール専用ホイールボルトで、アルミホイールは装着できません!</p> |
|--|--|---|--|

### 車輪脱落を防ぐ4つのポイント



